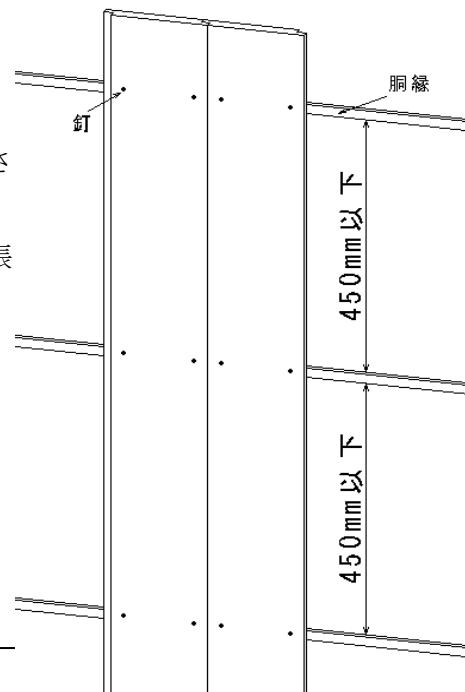


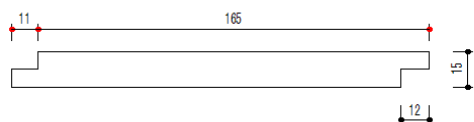
焼杉 施工要領

1. 完全乾燥状態ではありませんので、現場で陰干し後、ご使用ください。
2. 原則縦張りとし、胴縁の間隔は 450mm 以下をお勧めします。※横張りの場合、個別対応にて相決形状を変更しております。
3. 釘は、脳天打ちとし 1ヶ所に 2～3本打ちつけてください。

推奨釘	厚 15mm
着色釘（黒） 真鍮釘	L38～
※フィニッシュネイル等での施工不可	



断面図



釘打ちの際、特に素焼き、素焼き塗装の場合、表面の炭が多少剥がれます。なるべく寸止めで打ちつけてください。



縦方向雨仕舞



その他注意点

- 素焼き、素焼き塗装については、表面の炭がもろく、衝撃や摩擦により剥がれ落ちますので、十分な注意が必要です。剥がれた時には目立ちませんが、徐々に経年変化が進み、その部分だけが色落ちします。
- 無垢ですので、多少の巾違い、反り、割れが起こりますので、予めご了承ください。
- 木口が気になるようでしたら、タッチアップ塗料（有料）をお送り致します。
（但し、サンド仕上、サンド塗装仕上用の塗料はありません。現場にて調色してください。）